

令和6年度

寄附金活用事業のご報告

令和6年度、皆様からのご寄附を全27事業に活用させていただきました。
その中から6つの事業をピックアップし、少しずつ変わり始めているまちの様子をご報告いたします。

令和5年度
寄附実績

寄附件数：9,900件

寄附額：258,642,000円

うち130,000,000円を令和6年度事業に活用いたしました。

生活環境

活用額 9,000,000円

安心して暮らせるふるさとづくり

ごみ処理、消防、防災など、誰もが安心して暮らせるふるさと栗山を守り続けます。

事業名	充当額
災害時の危機管理体制の充実 PICK UP	1,500,000円
消防隊員装備品の更新・整備	1,500,000円
消防団施設などの充実・強化	1,100,000円
交通安全対策費一般	3,000,000円
交通安全運動の推進と施設整備	1,900,000円

教育

活用額 58,300,000円

人々が輝くふるさとづくり

栗山町の将来を支える子どもたちの育成や教育環境の充実を図ります。

事業名	充当額
小中学校英語教育の質的向上・充実	1,000,000円
オオムラサキ生息環境の保全・再生	5,300,000円
ハサンベツ里山環境の活動支援	4,000,000円
「ふるさと自然体験教育」の推進	10,000,000円
学園費 PICK UP	33,000,000円
特別支援教育の推進(小・中学校)	3,000,000円
学校教育におけるICT利活用の推進(小・中学校)	2,000,000円

医療・保健
福祉

活用額 34,000,000円

健幸に暮らせるふるさとづくり

安心して子どもを産み育てられる環境や、高齢者がいきいきと活躍できる場、地域に欠かせない救急医療体制を確保します。

事業名	充当額
健康診断と疾病の重症化予防の実施	3,000,000円
地球温暖化対策の推進	1,000,000円
児童の健全な遊び・活動の場づくりの推進	2,000,000円
地域に必要な医療水準の維持 PICK UP	28,000,000円

産業

活用額 20,000,000円

賑わいと活力あるふるさとづくり

農業後継者の育成や新規参入者支援、新たな特産品開発による観光振興、若者の定住支援事業など、賑わいあるまちづくりに取り組みます。

事業名	充当額
ものづくりを通じた担い手づくりの推進	4,000,000円
観光・交流による地域経済の活性化	6,000,000円
多彩な人材の確保・定着の推進 PICK UP	4,000,000円
移住・定住の促進	4,000,000円
地域ブランドイメージを生かした関係人口	2,000,000円

都市基盤

活用額 5,000,000円

快適でやすらぐふるさとづくり

若者・子育て世代の移住者を確保するための住宅助成制度や、まちの憩いの場「栗山公園」の整備など、快適でやすらぐ町並みを整備します。

事業名	充当額
若者・子育て世代が定住しやすい環境整備	2,000,000円
地域公共交通の維持・確保と利便性の向上 PICK UP	3,000,000円

地域経営

活用額 3,700,000円

みんなが主役のふるさとづくり

まちのニュースや行政情報を町民に伝える広報誌の作成、地域ごとのお祭りや美化運動など、町民が主体的にまちづくりに参画できるよう支援します。

事業名	充当額
行政情報の発信	700,000円
町民主体の地域づくり活動を支援 PICK UP	3,000,000円

寄附金活用事業 PICK UP

令和5年度、皆様からのご寄附を全27事業に活用させていただきました。
その中から6つの事業をピックアップし、少しずつ変わり始めているまちの様子をご報告いたします。



北海道栗山町
ふるさと応援寄附

栗がキニナル

生活環境

活用額 1,500,000 円

災害時の危機管理体制の充実



栗山小学校に設置した、非常用発電設備

安心を守る防災対策の充実を

備蓄用のガスボンベやアルファ米、飲料水などの食糧を購入資金に充当し、災害時に備えた物資の充実を図りました。
また、主要避難所である栗山小学校に非常用発電設備を整備費用の一部に寄附金を充当し、地域全体の防災力を強化を行いました。これらの取り組みを通じて、万一の災害時でも住民が安心して避難や生活を続けられる環境づくりを進めています。

教育

活用額 33,000,000 円

北海道介護福祉学校の運営



栗山町で育る未来の介護福祉士たち

北海道介護福祉学校の運営費や維持費に充当いたしました。北海道介護福祉学校は全国で唯一の町立介護福祉士養成で、昭和63年の開校以来、2,300名を超える卒業生が国家試験を突破し、全道、全国で活躍しています。また、介護の先進国であるフィンランドとの交換留学事業にも活用し、令和6年には3名の学生が派遣されました。現地の先進的な取り組みを学ぶ貴重な機会を提供し、未来の介護福祉士の成長を支援しています。

医療・保健福祉

活用額 28,000,000 円

地域に必要な医療水準の維持



令和7年秋の開業を予定している栗山赤十字病院新館の完成予想図

安心の医療体制づくり

安心して暮らせる医療体制を維持するための取り組みを進めました。産婦人科や小児科のオンライン相談サービスを導入し、妊産婦や子育て世代が気軽に専門家に相談できる環境の整備事業に充当いたしました。また、栗山赤十字病院において心臓超音波画像装置の更新を行い、医療体制を充実させました。地域住民が安心して医療を受けられる体制の確保に努めていきます。

産業

活用額 4,000,000 円

多彩な人材の確保・定着の推進



農業の未来を担う次世代農業者の育成と支援

にぎわいのあるまちづくりを目指し、多彩な人材の確保と定着を推進する事業に充当いたしました。
独立就農を目指して栗山町に移住・定住する地域おこし協力隊員”就農実習生”の活動費を支援いたしました。
さらに、次世代を担う農業者を育成するため、就農前の研修段階や就農直後の経営確立に必要な資金を交付し、安定した農業経営を続けているよう、支援を行いました。

都市基盤

活用額 3,000,000 円

地域公共交通の維持・確保と利便性の向上



住民の日常生活を支える大切な交通手段
コミュニティバス
「くるりん号」

住民の暮らしを守る公共交通の維持

町民の移動手段を守るため、公共交通の維持と利便性向上に取り組みました。町外への移動手段を確保するため、民間バス路線の維持事業に対する負担金に充当いたしました。しかし、今年度から夕張市から栗山町を経由して札幌市に至る路線が廃止となり、地域交通の課題が一層深刻化しています。
今後も地域の公共交通を支えるための支援を継続し、住民が安心して暮らせる都市基盤の整備に努めていきます。

地域経営

活用額 3,000,000 円

町民主体の地域づくり活動を支援



若者の起業支援で活気あるまちづくり

町民が主役となるふるさとづくりを目指し、地域づくり活動を支援しました。令和6年3月に卒業予定の地域おこし協力隊員3名に対して交付する、起業支援補助金の一部に充当し、まちににぎわいとなりわいを生み出す若者の起業支援を行いました。
また、まちづくり協議会の運営費にも充当し、住民が主体的に地域活動に参加できる環境を整備しました。今後も町民一人ひとりがまちづくりに関わることで、地域全体の活性化を目指します。